

## 鎮魂の青い鯉のぼり (5/3)



### アベノミクスって、どこの国の話？

子どもの日も近く鯉のぼりをよく目にするが、子どもの健やかな生長を願って揚げる鯉のぼりもあれば、幼くして津波に流された弟の鎮魂のために兄が揚げる鯉のぼりも…。

東松島市の大曲浜の「鎮魂の青い鯉のぼり」へ。幹線道路から離れているからか、ゴールデンウィークというのに訪れている人は殆どいなかった。

地区への入り口である橋の欄干はまだ修復中のようなが、小さなたくさんの鯉のぼりも泳いでいた。

震災で母と弟、祖父母亡くした兄が、弟(当時5才)の好きだった青い鯉のぼりを自宅跡地に揚げたことを知った全国の方々から青い鯉のぼりが贈られてきて一昨年、昨年も揚げ、今年は400匹が今日は風もあり元気に泳いでいた。

2日後の5日には更に80匹が加わって泳ぐよう。

鯉のぼりの中には、訪れた方が寄せ書き出来る白い鯉のぼりも。

だが、鯉のぼりの向こうには、まだ瓦礫の集積の山が…。

震災から2年経つが、どうした事情からか、鯉のぼりの近くには津波の被害そのままに周りも瓦礫のままの一軒の家があり、瓦礫も震災直後のままで、その中には何か果実か木の実を漬けて何かを作ろうとしていたのか、瓶詰めのものもあり、生活の臭いのする物が津波が運んできた砂に埋もれたままだった。

また、近くの更地の一角には、遺族であろうか犠牲になられた方のご冥福を祈ってか花が手向けられていた。

この地区は570世帯数が、全壊、流出し約300人が亡くなったとか。

アベノミクスとかで世の中は景気が上向いてきた気分なのか、ゴールデンウィーク後半初日の今日、県内の高速道路で渋滞の所も数カ所あったようだが、復興以前の復旧さえまだまだの津波被災地区の現状を目にすると、「アベノミクスって、どこの国の話？」と、つい白々しく思える……。

- [「雑学BN」](#)
- [「デクノボ」](#)